

主要事業個別シート(第2次実施計画／H27・28年度)

ver.1.01

①基本事項	計画コード	事業名	部名	環境産業部
	24015	し尿処理施設長寿命化事業	室名	廃棄物対策室
	基本施策の大綱	03:健康で自然の恵み豊かな環境の創造	会計	01:一般会計
	基本施策	03:循環型社会の形成・エコシティの実現	款	04:衛生費
	施策の方向	05:廃棄物処理施設の適正管理	項	02:清掃費
	戦略プロジェクト	-	目	03:し尿処理費
事業予定期間 H 25 ～ H 28 年度 主な根拠法令要綱等 廃棄物の処理及び清掃に関する法律				

②目的・概要	対象	市民及び事業者
	目的	亀山市衛生公苑は、稼働後まもなく28年が経過し、老朽化が進んでいる。また、生活排水処理設備の整備に伴い、浄化槽汚泥の発生量が増加し、加えて公共下水道の整備により生し尿が減少し、生し尿と浄化槽汚泥の割合に逆転現象が生じている。このことから、浄化槽汚泥に対応した処理機能の改善を図るとともに、老朽化した主要な設備・機器を更新し、引続き安定した処理を継続するため、施設を延命化することを目的に本事業を実施するものである。
概要	概要	本事業は国の循環型社会形成推進交付金を活用し、平成27・28年度の2ヶ年継続事業として基幹的設備改良工事を実施するものである。併せて交付金事業の要件である施設のCO2排出量を3%以上削減するものである。 なお、事業の実施にあたっては、合併特例債を活用する。

③ 年度別事業計画
事業の計画

平成27年度			平成28年度			
・基幹的設備改良工事 （機械設備、電気） ・施工監理業務委託			・基幹的設備改良工事 （土木・建築、機械設備、配管、電気、計装、仮設） ・施工監理業務委託			
計画額	事業費	295,900千円	457,000千円			
	国庫支出金	82,000千円	95,000千円			
	県支出金					
	地方債	203,100千円	343,900千円			
	その他					
	一般財源	10,800千円	18,100千円			
予算額	事業費	727,804千円	25,096千円			
	国庫支出金	170,656千円	6,344千円			
	県支出金					
	地方債	528,700千円	18,300千円			
	その他					
	一般財源	28,448千円	452千円			
期間内総事業費(H27・H28)①		752,900千円	期間外事業費(H29以降)②	0千円	総事業費 (①+②)	752,900千円

④指標			平成27年度	平成28年度	(参考・平成29年度)
	①	名称 衛生公苑し尿処理施設設備改良 進捗率	計画値	40	100
		実施済み事業費／総事業費	単位	%	%
	②	名称	計画値		
		補足	単位		
	③	名称	計画値		
		補足	単位		
	④	名称	計画値		
		補足	単位		

事務事業評価シート

H27(主要事業)

①基本事項	計画コード	事業名			部名	環境産業部		
	24015	し尿処理施設長寿命化事業			室名	廃棄物対策室		
	施策体系	基本施策の大綱	03:健康で自然の恵み豊かな環境の創造			財	会計	01:一般会計
		基本施策	03:循環型社会の形成・エコシティの実現			務	款	04:衛生費
		施策の方向	05:廃棄物処理施設の適正管理			科	項	02:清掃費
	戦略プロジェクト	-			目	目	03:し尿処理費	

②目的・概要	対象	市民及び事業者					
	目的・概要	亀山市衛生公苑は、稼働後まもなく28年が経過し、老朽化が進んでいる。また、生活排水処理設備の整備に伴い、浄化槽汚泥の発生量が増加し、加えて公共下水道の整備により生し尿が減少し、生し尿と浄化槽汚泥の割合に逆転現象が生じている。このことから、浄化槽汚泥に対応した処理機能の改善を図るとともに、老朽化した主要な設備・機器を更新し、引続き安定した処理を継続するため、施設を延命化することを目的に本事業を実施するものである。 本事業は国の循環型社会形成推進交付金を活用し、平成27・28年度の2ヶ年継続事業として基幹的設備改良工事を実施するものである。 併せて交付金事業の要件である施設のCO2排出量を3%以上削減するものである。 なお、事業の実施にあたっては、合併特例債を活用する。					

③指標	①	名称	衛生公苑し尿処理施設設備改良 進捗率	計画値	27年度	40	28年度	100
		補足	実施済み事業費／総事業費	実績値	40	100		
				単位	%	%		
	②	名称		計画値				
		補足		実績値				
				単位				
	③	名称		計画値				
		補足		実績値				
				単位				
	④	名称		計画値				
		補足		実績値				
				単位				

④事業の計画・実績	年度計画				年度実績				
	・基幹的設備改良工事 (機械設備、電気) ・施工監理業務委託				平成27年度分(1年目)工場製作 [機械設備] 計量器(トラックスケール)、夾雑物除去装置(ドラムスクリーン)、夾雑物脱水装置(スクリュープレス)、破砕機、温水発生装置、No.2脱水し渣搬送装置(スクリューコンベヤ)、し渣汚泥搬送機(スクリューコンベヤ)、オゾン発生装置、曝気ブロウ、ガス攪拌ブロウ、沈殿槽汚泥掻寄機、凝集沈殿槽汚泥掻寄機、汚泥濃縮槽汚泥掻寄機、砂ろ過器、汚泥脱水機、活性炭吸着装置、中・低濃度脱臭ファン [電気設備] 高圧受変電盤、中央監視装置 施工監理業務委託				
	事業費	事業費	計画額	予算額	決算額	人件費	総人件費 ①	910	平均給与額×③
		国庫支出金	82,000	170,656	175,546		一般職員人件費 ②	910	
		県支出金		0			所要人員 ③	0.12	
		地方債	203,100	528,700	106,800		臨時職員人件費 ④	0	
		その他		0			受益者負担額 ⑤	0	
		一般財源	10,800	28,448	5,808	受益者負担率	0.0%	⑤ / ⑥	
		再 翌年度への繰越額		439,651					
		掲 前年度からの繰越額		0	0				
	総人件費		①	910					
	総コスト		⑥	289,064					

⑤事業の評価	【事業の成果】	平成27年度分については主に機器の製作を行い、工場検査を実施し計画どおり完了した。	総合判定
			A
			順調に進んだ
	【反省点・課題】	本工事は既存のし尿処理施設を稼働させながら、計画的に運転を休止させ工事を実施する必要がある。平成28年度分工事も計画工程どおり完了させ、本工事の性能保証事項である改良後のCO2排出量削減率(12%以上)を検証する必要がある。	
	【改善の方向性】	平成28年度工事においても、工程管理に十分留意し、万全の体制で効率的に工事を施工する。	
事業目的の妥当性: 適切		有効性: 適切	最終評価確認者: 廃棄物対策室長 谷口 広幸